

76. 人生に“いいこと”を巻き起こす六つの法則

潜在意識の六つの法則を学びなさい。そうすればよいものが必ず拡大されます。

潜在意識に願望がインプットされると、本人が自覚しなくても潜在意識は働き始めます。ですから、よりよい人生を送るためには、つねによい願望を思い描いておくことが大切になってきます。

潜在意識を活用する上で大切な原則をマーフィー博士は次のように言っています。

①恥ずかしがってはいけない ②言葉は肯定的に使いなさい ③現在進行形で語りなさい ④よい想像をしなさい ⑤繰り返しなさい ⑥一人称で語りかけなさい。この六つの原則は極めて大切なことです。①の「恥ずかしがるな」というのは、どんな願望でもまじめに願い、躊躇するなということです。「こん幼稚な望みを」などと臆してはいけません。

②の「肯定的」というのは、肯定的であれ否定的であれ、その人がいつも心に描いていることは必ず実現するからです。あなたが悲惨な人生を望むならともかく、そうでないのなら否定的な考え方は大胆に切り捨ててしまうことです。

③の「現在進行形」は「成功の途上にある」という意識を持つために重要な点です。

現在形でないと、それは過去か未来へ行ってしまう。「なりつつある」という語りかけが、最適なやり方です。

④の「よい想像」は潜在意識にプラスのイメージをインプットするためのもので、不安や恐れも想像の産物です。よい想像をすることによって、これらの悪い想像がインプットされないようにするのは、このことです。

⑤の「繰り返し」が大切なのは、放っておくと無意識に潜在意識に刻印したことをしてしまうからです。ただでさえ人間は否定的な思考に傾きやすいのですから、必須の行為と言えます。

⑥の「一人称で語る」というのは極めて重要な点です。潜在意識の主体はあくまであなた自身ですが、何かを望むときは「自分が」とはっきり宣言することです。三人称では抽象的すぎて潜在意識の働きが集中しません。そのために願望の実現が遅れる、自分ではなく他人の上に願望が実現することも起きるからです。
